

佐藤ゆきお 日々の活動



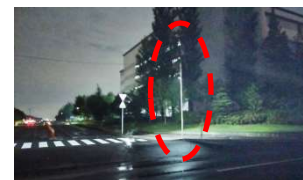
●鶴が丘1丁目
16-1付近
カーブミラー設
置
5月1日 調査
7月13日 完了



●南光台南1丁
目24-20付
近 カーブミラー
再設置
6月7日 調査
6月26日 完了



●松森スポー
ク前
街路灯設置
10月20日 調査
8月28日 完了



●八乙女1丁目
6-8付近
歩道整備
3月22日 調査
4月10日 完了



佐藤ゆきお 市議会通信

SATO YUKIO SHIGIKAI TUSHIN
【泉区】IZUMI-KU

9

「中山とびの保育園」の会派視察 2017年(都市公園内)



第3回定例会にて取り組むべき施策を訴える!

平日頃より、暖かなご支援を頂きまして、心より御礼申し上げます。
平成29年 第3回定例会(9月11日～10月12日)が開催されました。今定例会は前・奥山市長から郡市長に替わって初めての議会でもあり、当会派の代表質疑では、東日本大震災より6年6ヶ月が過ぎましたが、「最後のお一人が生活再建、そして心の復興を成し遂げるまで復興は終わらない」との思いを新市長へ訴えて参りました。これからも最後のお一人まで寄り添った復興の取り組みを進めて参ります。

私は、決算等審査特別委員会(第3分科会)にて「インバウンド(外国人観光客)施策・低炭素都市づくり」について質問に立たせて頂きました。
また、今定例会より、広報委員会の「副委員長」の任を頂き、議会の広報活動につきましても、更により分かりやすく、開かれた議会を広報委員会の立場から推進して参る所存です。これからも皆様の「声」を実現するために、何事にも全力で対応し、更なる「安心・安全」な街づくりを推進して参る決意です。

仙台市議会議員 佐藤 幸雄

一人の声を
市政に
つなぎます
VOL. 9

2017年11月発行
発行元/仙台市議
会公明党市議団
仙台市議会議員
佐藤 幸雄
仙台市泉区南光台1
-56-15-1
TEL.022-272-4863
Email yukio@
sendai-komei.jp



議会質問履歴

- ・平成27年度第3回定例会
一般質問
決算等審査特別委員会(環境費)
- ・平成27年度第4回定例会
代表質疑
・平成28年度第1回定例会
予算等審査特別委員会(環境費)
- ・平成28年度第2回定例会
一般質問
・平成28年度第3回定例会
一般質問
決算等審査特別委員会(環境費)
- ・平成29年度第1回定例会
一般質問
予算等審査特別委員会(環境費)
- ・平成29年度第2回定例会
一般質問
・平成29年度第3回定例会
決算等審査 第3分科会
<所属委員会>
市民教育委員会 (H27年度)
健康福祉委員会 (H28年度)
都市整備建設委員会 (H29年度)
環境・IT・政策調査特別委員
会 (H27年度～)
防災・減災推進調査特別委員
会 (H29年度)
広報委員会 副委員長
(H29年度～)

HP QRコード



SATO YUKIO SHIGIKAI
TUSHIN
VOL.9 2017.11



1. 本市の財源確保のための施策を進めるべき

【佐藤幸雄議員】すでに国より示されました「インバウンド(外国人観光客)推進事業」につきましては、「東北観光推進機構」により、「広域連携による東北観光推進について」と題した講演があり、その取り組みの概要が示されたところである。

そこで、本市に関わる「仙台の観光推進」について**今後、どのように外国人宿泊数を増やしていくのか、施策及び目標設定はされているのか伺う。**

【誘客戦略推進課長】本市のインバウンド推進にかかる施策については、昨年度、東北観光復興対策交付金の申請に合わせて策定した「仙台市インバウンド観光復興対策実施計画」の中で、アジア圏を中心とした戦略的なプロモーションのほか、**まち歩きツアーなど体験型コンテンツの充実、受入れ環境の整備等を実施することとしている。**また、本計画の中で平成30年の**外国人宿泊数15万9千人**という目標値を掲げているところである。

【佐藤幸雄議員】今後、人口減少社会に突入する事を想定して、本市としても大きな財源確保策にもなる「インバウンド」の取り組みであるが、「ロードマップ(工程表)」等の作成、

第3回定例会
決算審査 第3分科会 質問
平成29年10月

本市の観光推進による経済活性化を推進！

どのように取り組みの進捗を確認していくのか。国への予算折衝の際には、達成可能な裏付けのある、より説得力のあるプランで進めるべきと考えるが当局の所見を伺う。

【文化観光局長】本市の「経済成長デザイン」において平成29年までに観光客入込数を2,300万人にすること、また外国人宿泊者数の最高値を更新すること、といった交流人口拡大にかかる目標を設定し、施策に取り組んで参りました。結果、これについては一定程度達成の見込みになっている。現在は「仙台市インバウンド観光復興対策実施計画」における「平成30年に15万9千人」の目標達成に向けて、**年度ごとの目標設定と達成状況の評価を行いながら取り組みを進めているところである。**今後とも、受入れ環境整備や滞在を促すコンテンツの開発など各般の施策を展開しながら、来訪者数や滞在日数等の実態についても必要に応じて把握するように努めつつ、データに基づく施策の評価と推進管理を行い、インバウンドによる経済効果が地域に行きわたるよう、東北全体における交流人口拡大をけん引する役割を果たして参りたい。

2. 環境先進都市について

継続して低炭素都市づくりの施策を進めるべき！

【佐藤幸雄議員】本年の第1回定例会 予算等審査特別委員会の質問の際に指摘させて頂きました、**熱エネルギー有効活用補助金のタイムリーな予算執行額(残り予算額)を市民の皆様へわかりやすく発信する事で、更に市民の皆様にも本市の「地球温暖化対策」への取り組みに賛同いただけるものと提案させて頂いたところ、**当局で、補助金の「残り予算額」等を含め、様々な施策を講じてこられました。が、まず、どのような施策と工夫がされてきたのか伺う。

【環境企画課長】補助金の予算額につきましては、昨年度は11月より、本市ホームページに掲載してましたが、委員からのご提案を踏まえ、**今年度は5月より毎月予算残額を掲載している。**このことにより、事業者の方々が営業を行う上で、**早くから申請状況を把握して頂けるようになっている。**また、申請様式を作成する際の誤記入を減らすという観点から、今年度は様式の見直しを行い、可能な限り、**チェックボックスを用いた選択形式での記入方法に切り替え、手続きの簡略化を図った。**申請者の方へ参考としていただく「申請の手引き」についても**わかりやすく記入例や写真を掲載するなどの工夫を講じたところである。**

【佐藤幸雄議員】実際に私の所にも、「申込書」の記載は以前より格段に記載項目が減り、その代わりにチェックボックスとして選択方式としたことや、「申請の手引き」も前回はなかった

参考記入例を掲載したことにより、**非常にわかりやすいとの評判の「声」を頂いております。**

私はこのような取り組みの効果は、必ず当局で進める「地球温暖化対策」に更にご協力頂けるものと確信致しますが、**最後に今後の取り組みの決意も含めた所見を伺う。**

【都市整備局長】地球温暖化につきましては、全世界共通の重要課題であり、本市におきましても、パリ協定での我が国の目標を「**杜の都 環境プラン**」に掲げ、対策をしているところである。目標達成に向けましては、市民一人ひとり、また一つ一つの事業所における取り組み、数値としては一つ一つは小さいかもしれませんが、その積み重ねが必要と認識している。引き続き、市民の皆様、事業者の方々との協働を図りながら、**今回、質問いただいた「熱エネルギー有効活用等補助金」を積極的に活用し、目標達成に向けて、鋭意、取り組みを進めて参りたい。**

